

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	東建興 株式会社	電話	0748-32-8715
	住所	静岡県近江八幡市出町162-2		

### 測定対象建物の概要

建物の名称	様邸 新築工事		
所在地	沼賀町森根市		
竣工年月日	2016/10		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>	
	1階床面積	93.15 m <sup>2</sup>	
	2階床面積	57.14 m <sup>2</sup>	
	3階床面積	- m <sup>2</sup>	
	延べ床面積	150.29 m <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様	窓	単層(引き違い・外開き・内開き)	
	玄関戸	外開き戸	
主な部位の気密層の仕様			
建物概要図	別紙添付図面の通り		
通気量を測定した位置	換気平面図に示す		

### 測定時の建物条件

No.	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック錠錠だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の裏方を断熱している 地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	なし	
7	自然レンジファン	シャッター閉または目張り	なし	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	なし	
9	FF式以外の排気口	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気 ダクトの屋外出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
測定対象外にした部分(窓)の名称				
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- m <sup>2</sup> (B)		
吹き抜け・床下・小屋裏などの測定対象の床面積		41.53 m <sup>2</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(D):		S = 191.82 m <sup>2</sup> S = (A) - (B) + (C)		
測定対象とした建物の外皮内容積		V = m <sup>3</sup> (換気回数を決めるときに記入すること)		

(注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

## 住宅の気密性能試験結果(2)

住居 戸建工業

### 測定者・測定方法・測定装置

事業所	株式会社 ヴァーベックス	事業所 登録番号	1706	測定者	高橋 宏	登録番号	07205-18
所在地	大阪府堺市南区吉田本町2-3-50				電話番号	072-962-3781	
測定方法	JIS A 2294 (気密試験による住宅等の気密性能試験方法)による (吹出法) 気密性は圧力差の測定により、あらかじめ校正した測定装置を常用して行った。						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2015年11月18日 14時10分						
測定時の環境	天候	晴れ	風速	m/s	(参考)		
	室内温度	14.7 ℃	風向		(参考)		
	外気温度	14.8 ℃	風速測定位置		(参考)		
			気圧	1019	(参考)		

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	30.6	30.3	40.4	50.2	60.9					
透気量: $Q$ (m <sup>3</sup> /h)	62	90	113	131	151					

初期特性値: $n$ (1 < $n$ <= 2)	1.20
透気中( $\Delta P=10$ Pa時の透気量): $a$	5.1 m <sup>3</sup> /h・Pa <sup><math>n</math></sup>
$\Delta P=0.8$ Paにおける透気量: $Q_{0.8}$	34.2 m <sup>3</sup> /h
係数: $C$	0.695
総相当隙間面積: $\Sigma A_{eq}$ (cm <sup>2</sup> )	24 cm <sup>2</sup>
相当隙間面積: $C$ (cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.1 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>

